

「まちづくり推進委員会」の現状把握に関するアンケート結果 (概要版)

2019年(令和元年)8月29日



福山市

1 調査概要

- (1) 調査目的 学区(町)まちづくり推進委員会の現状を把握し、持続可能な地域コミュニティのあり方に関する有識者会議から提案のあった地域のまちづくりを維持していくための方向性の具現化、実現につなげていくため。
- (2) 調査期間 2019年(令和元年)6月14日(金)～同年7月5日(金)
- (3) 調査対象 79学区(町)まちづくり推進委員会
- (4) 実施方法 各生涯学習センターの担当職員がまちづくり推進委員会と連携して回答を作成
- (5) 回収率 100%

[参考]各生涯学習センターの所管区域(全79学区(町))

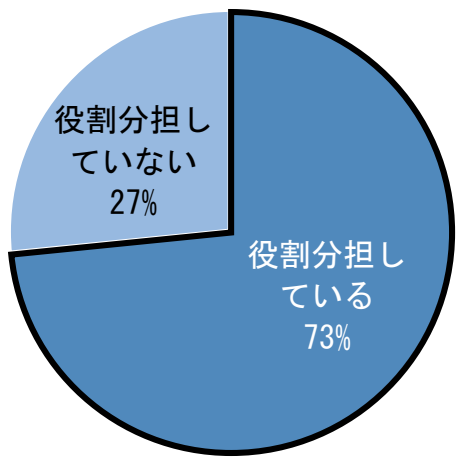
センター名	所管学区(町)	
	数	名称
中部生涯学習センター	18	東, 西, 南, 霞, 川口, 手城, 深津, 樹徳, 箕島, 旭, 光, 曙, 多治米, 桜丘, 西深津, 久松台, 新涯, 川口東
南部生涯学習センター	17	泉, 津之郷, 赤坂, 瀬戸, 熊野, 水呑, 高島, 鞆, 走島, 山手, 明王台, 内浦, 内海, 能登原, 千年, 常石, 山南
松永生涯学習センター	9	神村, 本郷, 東村, 今津, 高西, 松永, 柳津, 金江, 藤江
北部生涯学習センター	14	有磨, 福相, 山野, 広瀬, 加茂, 宜山, 駅家, 服部, 駅家東, 駅家西, 常金丸, 網引, 新市, 戸手
東部生涯学習センター	15	引野, 蔵王, 千田, 御幸, 大津野, 坪生, 春日, 伊勢丘, 旭丘, 緑丘, 長浜, 野々浜, 幕山, 日吉台, 大谷台
神辺生涯学習センター	6	神辺, 竹尋, 御野, 湯田, 中条, 道上

2 調査結果(概要)

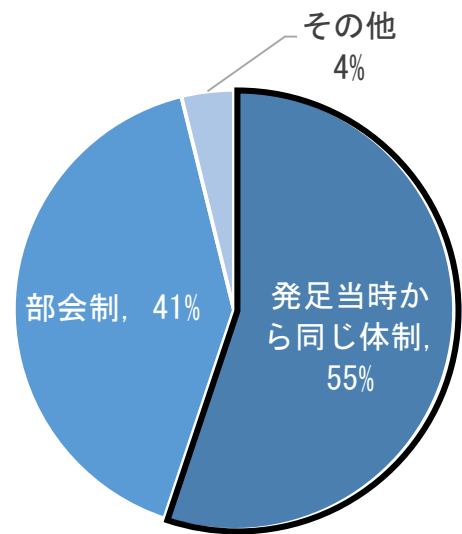
(1) まちづくり推進委員会の組織運営について(その1)

○委員会設立13年を経過し、構成団体間で役割分担をしながらの運営(73%)が行われているものの、事業テーマごとに部会を設けるなど組織の見直しは過半数で実施されていない。

学区(町)まちづくり推進委員会では、構成団体内で「事業の企画・立案・決定(取組事業を考えて決めるなど)」と「事業の実行(決定された内容に基づいて準備や当日の運営を行うなど)」などの役割分担がなされていますか。該当するもの1つに○をしてください。



学区(町)まちづくり推進委員会の組織について、該当するもの1つに○をしてください。



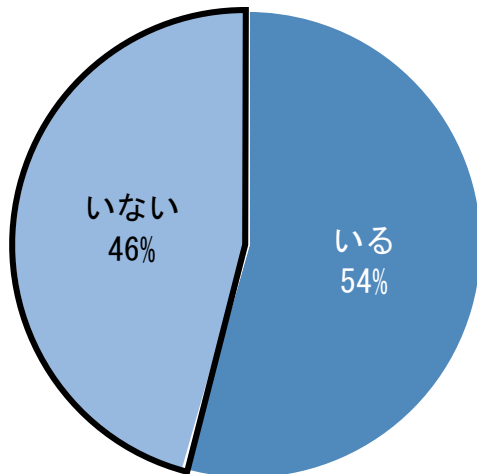
※部会制とは、地域の課題解決や地域の特性に応じたまちづくりをより実効性のある活動にし、役員の負担を減らすため、まちづくり推進委員会発足時に市が組織のモデルとして示したもの。

(1) まちづくり推進委員会の組織運営について(その2)

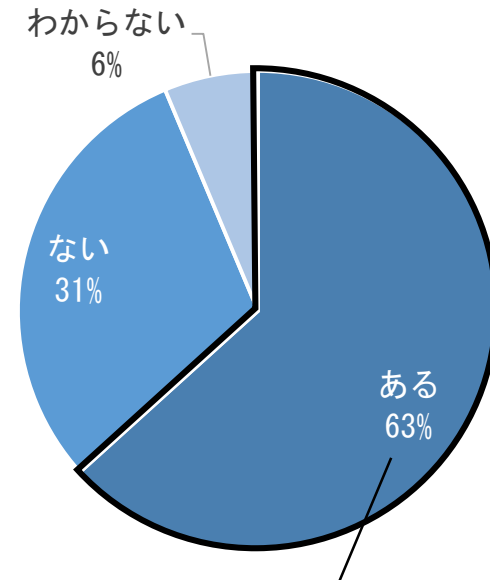
- 構成団体間の調整・連携を担うコーディネーター役(つなぎ役)がない学区(町)は46%
- 63%の学区(町)で維持・継続が難しい構成団体がある。

学区(町)まちづくり推進委員会において、地域づくり推進のためのコーディネーター役を担う人材がいますか。該当するもの1つに○をしてください。

※ここでいうコーディネーター役とは、委員会の構成団体間の調整や連携を行い、委員会が円滑に運営していけるような役割を担う方です。



学区(町)まちづくり推進委員会の構成団体の中で、今後、組織の維持・継続が難しいと思われる団体はありますか。

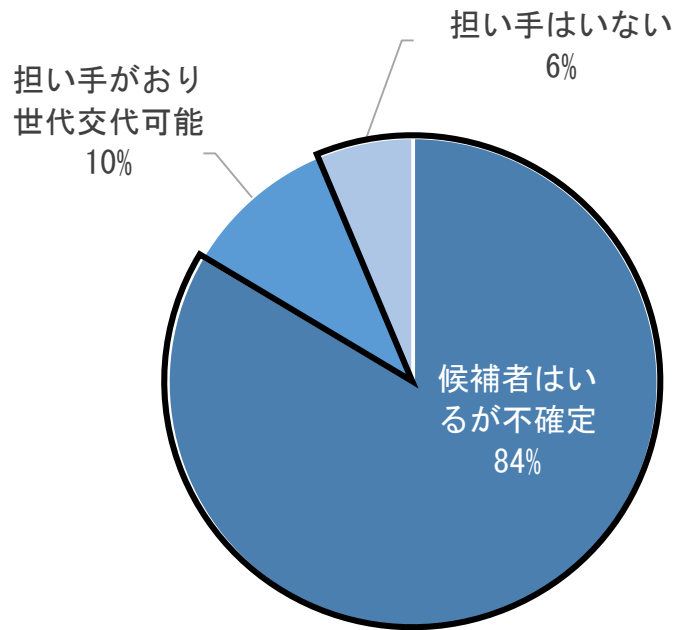


- ・老人会(22件)
- ・女性会(17件)
- ・子ども会(7件), 子ども会育成協議会(4件)
- ・単位町内会(6件)
- ・公衆衛生推進委員会(4件)
- ・小学校PTA(2件)

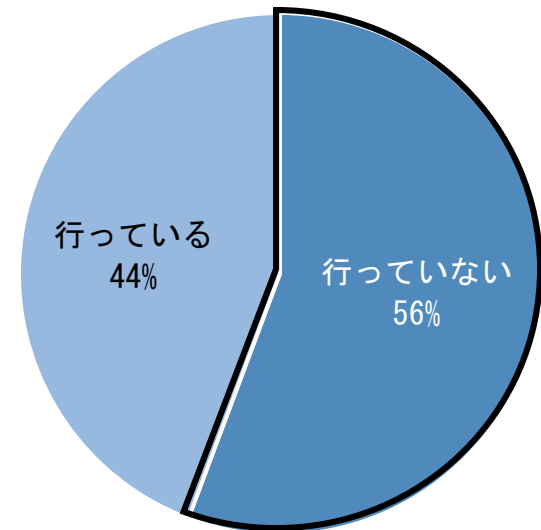
(2) 地域づくりの担い手について

○次世代の担い手がいない又は世代交代が不確定と答えた学区(町)が90%に及ぶものの、過半数で次世代に引き継ぐための具体的な取組が行われていない。

地域づくりの次世代の担い手がありますか。最も近いと思われるもの1つに○をしてください。



地域づくりを次世代に引き継ぐための具体的な取組を行っていますか。該当するもの1つに○をしてください。

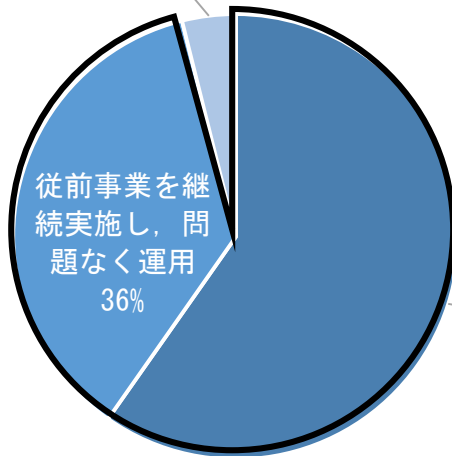


(3) まちづくり推進事業費補助金(包括補助金)の活用状況について

○96%の学区(町)が地域の实情に応じて運用しており、一定程度の定着が見られるものの、「活動が活発な地域へは増額を」「用途の自由度を高めてほしい」「複数年度の積立てを認めてほしい」といった意見がある。

補助金の運用について、該当するもの1つに○をしてください。

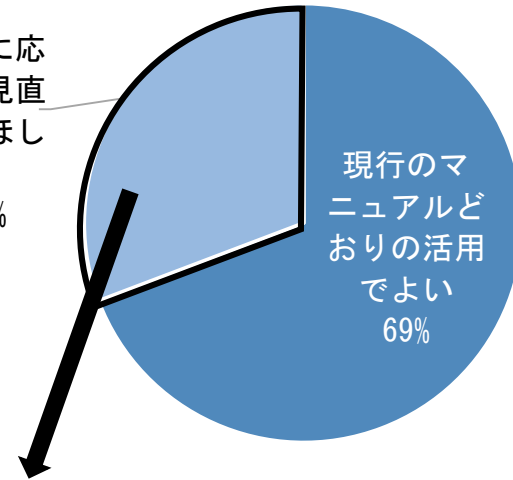
運用が難しい
4%



地域まちづくり計画に沿って、従前事業の見直し又は新規事業を実施し、問題なく運用
60%

補助金の活用について、該当するもの1つに○をしてください。

状況に応じて見直ししてほしい
31%



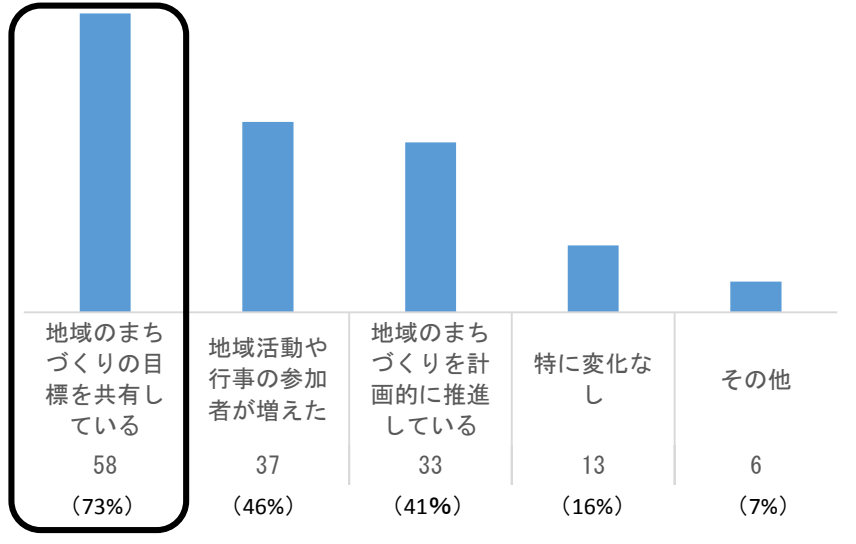
(具体意見)

- ・活動が活発な地域へは増額を。
- ・用途の自由度を高めてほしい。
- ・複数年度の積立てを認めてほしい 等

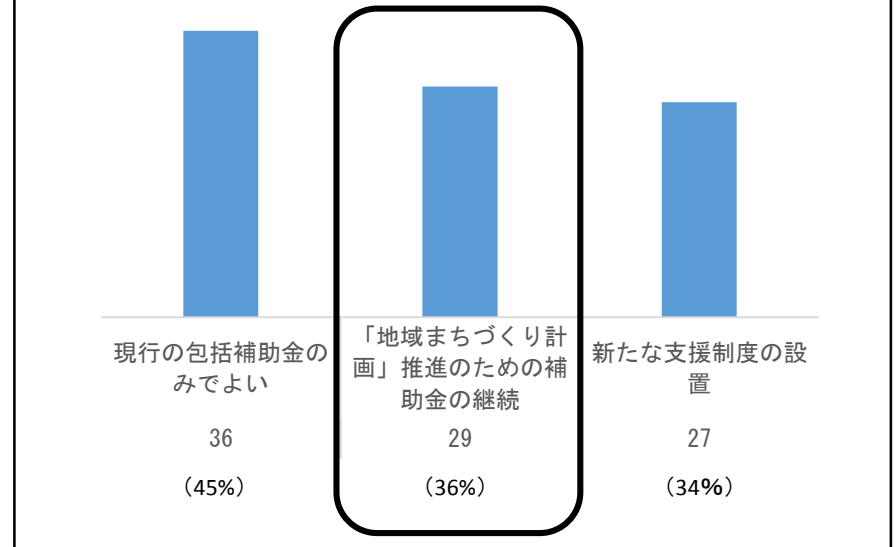
(4) 地域まちづくり計画について

○73%の学区(町)で地域のまちづくりの目標を共有しながら地域づくりが進められており、36%の学区(町)が地域まちづくり計画推進事業補助金の継続等の支援制度の見直しを希望している。

地域まちづくり計画を策定して変わったことについて、該当するもの全てに○をしてください。



支援制度について、該当するもの全てに○をしてください。



(5) 事務環境について

○専用スペース(32件)やIT環境の整備(44件)などが望まれている。

まちづくり活動を進めていくうえで、こういった事務環境が望ましいと思いますか。

- 団体専用の事務スペース(32件)
- 団体専用のパソコン、プリンター、カラープリンター等(24件)、インターネット環境(20件)
- 団体と公民館・交流館とのデータのやり取りが難しい
- 事務を担うための人件費を認めてほしい 等